

1. 工事概要

小丸川発電所建設所は、宮崎県の木城町を流れる小丸川に新たに発電所を建設する工事を行っています。

小丸川の支流大瀬内谷川の最上流部に上部ダムを築造して上部調整池とし、小丸川中流部に下部ダム（石河内ダム）を築造して下部調整池とします。

この間の有効落差約646mを約2.8kmの水路で連結し、毎秒222m³の水を流すことにより、地下に設けた発電機で最大出力120万kW（30万kW×4台）の発電を行う純揚水式発電所を建設するものです。

工事は順調に進んでおり、2007年7月に1台目を運転開始する予定です。2台目は2008年7月、残りの2台は2010年7月に運転開始する予定です。

工事が完了すると、九州最大の水力発電所となります。

小丸川発電所新設工事に伴い石河内ダム直下へ河川維持流量（毎秒1.33m³）を放流することから、この維持流量を有効利用した発電所建設を計画しています。

■ 計画諸元

発電所所在地	宮崎県児湯郡木城町大字石河内
水系及び河川名	小丸川水系小丸川及び大瀬内谷川
発電出力	ダム水路式(純揚水式)
最大出力	120万kW(30万kW×4台)
最大使用水量	222.00m ³ /s
有効落差	646.20m
運転開始	I期-1 (30万kW×1台) 2007年7月
	I期-2 (30万kW×1台) 2008年7月
	II期 (30万kW×2台) 2010年7月

■ 小丸川発電所建設工事の概要

